

東京教区時報

第1015号
2006年11月26日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskkn.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

今回の50年ぶりの改訂には、委員の方々がかりでなく、日本聖公会全体の広

去る11月1日を発行日としてついに「聖歌集」が刊行されました。現行の「古今聖歌集」に代るものです。一九九四年に正式に聖歌集改訂委員会が組織されて以来、その委員会の12年間にわたる研究・収集・創作・検討・編集というぼう大な作業の結果が、この新しい聖歌集です。恐らくその作業が完ぺきなものでなかった点が、今後見つかるかも知れませんが、歴代の、この委員会に加わって下さった方々の労に、心から感謝したいと思います。

——《恵みに生かされて》——

新「聖歌集」の喜び 主教 植田仁太郎

（この用紙は再生紙を使っています）

「参加」があつたことも特筆されるべき、喜ばしいことでしょう。12年間の作業過程の中で、新しい詞や曲が数多く創作され、またそれが、全国各地で開催された検討会で吟味され、「試用版」「増補版」の発行をとおして実際に私たちの教会の礼拝でうたわれました。礼拝と信仰生活に不可欠な賛美の歌が、ただ伝統の中から与えられるばかりでなく、現に生きていく信仰の共同体の中から創られていった——その体験をみんなですることができた、これは本当に大きな恵みであり喜びです。各教会で愛され、用いられてゆきますように。

（東京教区主教）

◇11月の代禱・信施奉献先
▽笹島キリスト教連絡会のため
▽障害者週間のため▽滝乃川学園のため▽人権活動を支える主日(11月最終主日)
◇12月の代禱・信施奉献先
▽聖書の主日(降臨節第2主日)▽世界エイズデー▽聖救主福祉会のため▽部落解放キリスト者運動のため
▽「みんなでつくるバリアフリーのクリスマススパイティ」が、外濠グループと教区「障害者」関連活動委員会の共催、信仰と生活委員会後援で12月9日(土) 13時半、聖バルナバ教会で開かれる。6回目となり「互いにあらゆる違いを乗り越えて、参加者も主催者も共に

今週・来週の予定 11月26日～12月9日

- 26(日) 聖霊降臨後最終主日・キリストによる回復(降臨節前主日)
主教巡回 東京諸聖徒教会
城南G教会協議会(真光)
下町G教会協議会(神愛)
- 27(月) 正義と平和協議会運営委員会
- 28(火) 銀座朝拝会
- 12月
- 3(日) 降臨節第1主日
主教巡回 池袋聖公会
エイズデー記念礼拝
(聖バルナバ)
- 4(月) 聖職試験委員会
- 7(木) 教区企画室・財政合同委員会
- 8(金) 職員会議
広報委員会

パーティを造りあげる趣旨が浸透し、楽しまれている集会。参加費500円、定員50人。申込みは外濠各教会へ、12月3日締め。
▽聖路加国際病院礼拝堂「オルガンコンサート・タの祈り」が12月6日(水) 18時半、19時から行われる。演奏者は山口綾規。入場無料(会場献金)。
▽聖パウロ教会ランチタイムコンサートは12月8日(金) 12時20分から約30分間。演奏者はソプラノ高橋絵理、オルガン佐藤礼子。入場無料。

常置委員会報告(11月14日)

*キヤサリン・シヨール米国聖公会総裁主教就任式への出席、新聖歌集発行など、主教報告。
*07年代祷・信施奉獻先表を作成中、教区時報遅配対応策を広報委員会検討、10月収支、その他、10月韓国スタディツアーを基盤に「オウルリムの会」立ち上げ、新しい聖地旅行を考える訪問団など、主教チャプレ・各主事報告を了承。
*教区会議案について協議。
*その他

▽エルサレム教区協働委員会(委員長・神崎雄二司祭)では、聖書のよりよき理解に加えてパレスチナの「今」を

際に確かめ、現地聖公会との協働関係にも資する聖地旅行

を考えようとの計画を、教区の枠を超えて進めている。現地工教区も、全面的な協力を約束。来年2月には「新しい聖地巡礼を考える訪問団」

(10人程度)を派遣する計画で、同委員長と北海道教区・大友正幸司祭が中心となつて関係先との調整を始めている。およそ10日間の日程でエルサレム、ナザレ、ラマツラなどのほか各地の教会、施設、学校を訪問する予定で、リア主教、工教区関係者と折衝調整中。詳細は同委員長宛に電話03(3641)3895。

▽大韓聖公会ソウル教区司祭合唱団の来日公演が12

月8日(金)18時半、立教学院諸聖徒礼拝堂で行なわれる。各パート2人ずつ計8人の教役者(内1人は執事)で、牧会に加え音楽奉仕活動をつづけていてすでに2枚組CDもリリースするなど人気上昇中のグループ。团长、指揮者を交えて12人の来日。管区正義と平和日韓協働プロジェクトの主催により名古屋、大阪と回る3公演で聖公会生野センターの活動支援が目的。チケット千円(各教会扱い・当日券あり)。照会などは教区事務所宛に。

▽BSA(日本聖徒アンデレ同胞会)第79定期総会及び感謝礼拝などが12月2日(土)14時、三光教会で行われる。照会電話03(3436)4325。

【教会グループ協議会報告・今年の活動から】

2 外濠

外濠4教会では、以前より大齋節聖木曜日(の)の夜に、持ち回りで聖餐式・洗足式を行つております。今年も、他教区との交流を図る目的で説教を横浜教区・遠藤主教にお願いし、いったんは受諾していただきましたがその後、聖餐式説教でなく、大齋講話として礼拝後に行いたいとの提案が遠藤主教からありました。

この件は外濠牧師協議会で熱心に討議されましたが、結局聖木曜日の礼拝の目的にそぐわないということでお断りし、急遽河野司祭に説教をしていただきました。このことは当グループに山野司祭及び笹森司祭が所属さ

れていることと無縁ではないと思われ、女性の司祭に対する見解を異にする他教区と共同で聖餐式を執り行うことの難しさを、改めて認識させられることとなりました。

話は変わって、外濠グループの夏季行事として8月27日(日)の午後、聖テモテ教会において新聖歌集・チャントを歌う合同の夕の礼拝と納涼懇親会が行われました。現行祈禱書に対応した新聖歌集発刊の意義を噛みしめるために、外濠以外からの参加者も含め約60名で新しい曲・改定された曲を皆で盛大に合唱することによって実際に体験すると共に、楽しい懇談の時を過ごすことが出来ました。

幹事・東京聖テモテ 横山 融

《今、この教会では》

千住基督教会

4月より木下司祭を迎え新たな一歩を踏み出したが、5年の管理教会の間、高齢化の波をもろに受け主日礼拝は一桁台になり、司祭の真剣な説教も勿体なくて一人でも多くの人に聴いてほしいと願う今日この頃。南千住も昨今の開発は目を見張るものがあり、駅裏には高層マンションが林立し公園やショッピング街が人を集めている。つくばエクスプレスの開業で常磐線日比谷線と共に至便駅より5分の好立地にあり、信仰の灯火を絶やさないうよう頑張れば昔日の繁栄を回復出来ると思じています。一度説教を聴きに来ませんか、歓迎します。(小砂喜久郎)